

一 般 質 問 通 告 表

	ページ	
① 田 原 実	1 (12月11日予定)
② 山 本 剛	3 (")
③ 吉 川 慶 一	5 (")
④ 滝 川 正 義	6 (")
⑤ 保 坂 悟	8 (")
⑥ 渡 辺 重 雄	11 (12月14日予定)
⑦ 佐 藤 孝	13 (")
⑧ 笠 原 幸 江	14 (")
⑨ 新 保 峰 孝	15 (")
⑩ 田 中 立 一	17 (")
⑪ 松 尾 徹 郎	19 (12月15日予定)
⑫ 東 野 恭 行	20 (")
⑬ 五十嵐健一郎	22 (")
⑭ 古 川 昇	23 (")
⑮ 吉 岡 静 夫	25 (")

令和2年(12月)第6回市議会定例会

質 問 事 項

① 田 原 実

1 新型コロナウイルス対応、看護師確保等、糸魚川地域医療の現状と課題について

【答弁者：市長、教育長】

(1) 新型コロナウイルス対応で医療体制が崩壊してしまわないよう、市が中心となって対策を取るべきと、これまでの一般質問でも取り上げていますが、再度、以下の点について市長に伺います。

- ① 予防策と検査体制について
- ② ワクチン確保について
- ③ 重症化対策について

(2) 糸魚川市の地域医療体制確保の施策については、これまでも取り上げていますが、その効果はどうであったか、この先の対応はどうなるか、以下の点について市長に伺います。

- ① 休日夜間救急医療体制確保について
- ② 市内産婦人科確保について
- ③ 総合診療医育成支援について
- ④ 医師確保対策、医師研修費助成について
- ⑤ 医師看護職等修学資金貸与事業について
- ⑥ 認定看護師等資格取得費用助成について
- ⑦ 高度医療施設設備等整備について
- ⑧ 18歳までの子ども医療費助成について
- ⑨ ひとり親家庭等医療費助成について
- ⑩ インフルエンザ予防接種費用助成について
- ⑪ 不妊症、不育症治療費助成について
- ⑫ 山間へき地診療所運営の継続について
- ⑬ 在宅医療、訪問看護の促進と支援について

(3) 13年前、姫川病院が突然閉院し、糸魚川の医療現場は混乱し、市民の命が危機にさらされました。以来、唯一の基幹病院である厚生連糸魚川総合病院を維持することも一つの目的として、市民が医療について理解を深める地域医療フォーラムを提案し、毎年開催してきましたが、その効果はどうであったか市長に伺います。

(4) 地域医療体制の最大の課題である看護師確保、看護師育成の強化策についてはこれまでの一般質問でも取り上げていますが、再度、以下の点について、市長と教育長に伺います。

- ① 看護師の市内就職と看護師が働きやすい職場環境整備について
- ② 家族で考える糸魚川の医療体制と、看護職を目指す子供たちの芽生えについて
- ③ 看護職を目指す中高生の育成について

質 問 事 項

- ④ 看護師育成の専門機関の創設について
- ⑤ アニメを使った看護師育成テキスト「ナースへの道」作製とその活用について

2 「糸魚川のシーフードは最高！」ブランド魚、深海魚、漁港の活用、新しい情報発信で稼ぐ「さかなのまち糸魚川再生」について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 市内漁港の現状、漁協、漁師の数、水揚げの状況、市内漁場の特性とエリアごとの魚種、近隣観光施設との連携について伺います。
- (2) 糸魚川で獲れる魚は鮮度・状態が良くトップブランドとなる品質ですが、一つの魚種の量の確保が難しいと聞いています。ただ、新しい技術や販路の工夫で、糸魚川の魚の良さ、おいしさ、珍しさを情報化して「さかなのまち糸魚川」をアピールすべきと思いますが、いかがですか伺います。
- (3) 「糸魚川のシーフードは最高！」と思える魚食文化の醸成については、家庭、教育現場での実食が必要です。糸魚川の魚をおいしく食べて習慣化する、幼児期、小中学校、高校、市民に向けてのそれぞれの取組について伺います。
- (4) 糸魚川の魚を使った加工品の開発と販売、魚を使った疲労回復長寿命メニューの市民への周知と定着の取組を進めてはいかがでしょうか、伺います。
- (5) 市内漁港への釣り人の侵入による被害と対策の状況について伺います。
- (6) 長野県の皆さん、子供たちから見て、糸魚川が憧れの地となるような、これからの海、海岸、漁港の活用について伺います。
- (7) 糸魚川の漁師ユーチューバーが注目を浴びていますが、ご存じでしょうか。「さかなのまち糸魚川」の新しい情報発信として、また魚で稼ぐツールとして活用すべきと考えます。予算を付けて支援してはいかがですか、伺います。

3 「駅開き、まち開き、谷開き」、えちご押上ひすい海岸駅開業をきっかけとする押上、西海、海谷溪谷をつなぐ地域連携エリアの複合的な魅力づくりについて

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 新駅開業事業のスケジュールと、それ以降の駅周辺のにぎわいづくり及び定住促進について伺います。
- (2) アニメ「宝石の国」のひすいのキャラクターの活用、ヒスイ海岸の看板のライトアップ、ヒスイ海岸護岸のイルミネーション、バス対応駐車場など、観光誘客に向けた海岸の利用と環境整備について伺います。
- (3) 駅近くに駄菓子屋さん、そば屋さん、弁当屋さん、銭湯があれば良いと思いますがいかがですか、伺います。

質 問 事 項

- (4) 海川上流の海谷溪谷から河口の押上海岸までの地域連携エリアの豊かな自然・文化を活用する魅力向上について伺います。自然の一例を挙げれば、映画が撮影された海谷溪谷ジオサイトの景観のすばらしさは言うまでもなく、また文化資源の一例を挙げれば、水保観音堂の木造十一面観音立像は元国宝で、現在国指定重要文化財です。
- (5) 海谷溪谷から押上海岸までの釣りやキャンプによる誘客の取組について伺います。
- (6) 県立糸魚川高校の「高校の魅力化」のプログラムである糸高「アイ・クエスト」 「探究活動」が展開される、地域連携エリアの複合的な魅力づくりについて伺います。
- (7) 出身者相馬御風を縁とする、早稲田大学の学生と一緒に進める、地域連携エリアの複合的な魅力づくりについて伺います。

② 山 本 剛

1 「自然環境保全事業」として行われた田海ヶ池の調査について

【答弁者：市長】

本年9月に、「自然環境保全事業」として田海ヶ池の外来生物駆除、生物生息調査が行われました。その事業について、以下伺います。

- (1) この事業を行うまでの経緯について伺います。
- (2) 今回行われた、この事業の日程・内容について伺います。
- (3) 内容は地引網が破れる等、苦戦であったと思います。今回の成果及び評価を、どのように考えているか伺います。
- (4) 今後この事業の継続や田海ヶ池を、どのように考えているのかを伺います。

2 「キャリアフェスティバルいといがわ2020」について

【答弁者：教育長】

市内4校の中学3年生を対象に、「キャリアフェスティバルいといがわ2020」が11月12日に行われました。その事業について、以下伺います。

- (1) 参加した中学生の評価は、どうであったか伺います。
- (2) 出展した企業・事業者の評価は、どうであったか伺います。
- (3) 教育委員会としての評価を伺います。
- (4) 次年度以降の開催について、するとした場合、その内容について改善点等をどのように考えているのか伺います。

質 問 事 項

3 糸魚川市と県内他市町村の教育費との比較について

【答弁者：市長、教育長】

「新潟県100の指標」が県から公表されています。その中に、市町村ごとの「教育費割合」があります。「教育費割合」とは、その市町村の歳出決算額（普通会計）に対する教育費の割合です。そこで、過去5年間の記録を拾ってみました。糸魚川市は27年度が11.3%で、その後は9.6%、9.0%、8.0%、7.4%でした。県内30市町村中27年度が10位でしたが、令和元年度は27位となりました。

教育費には、学校の建設費なども含まれるため、単純に比較はできないものです。糸魚川市は令和元年度、ごみ処理施設整備に多額の費用を使い、分母が大きくなったことで教育費の割合が下がったものとも考えられます。しかし、この5年間では27年度の10位が最高でした。

糸魚川市は「子ども一貫教育基本計画」で「ひとみかがやく日本一の子ども」を目標に掲げています。その中に「『日本一の子ども』とは、自信をもって世の中に力強く歩みだす子どもの姿を表したスローガンです。家庭、園、学校がそれぞれの役割を自覚し、環境を整え、責任をもって教育に取り組みます。」と書かれています。

私は日本一を目標に掲げるのであれば、少なくとも県平均以上の予算が必要と考えます。教育環境を整えるには、それなりの費用が必要だと考えます。

先日行われた陰山メソッド全国大会で、授業を見学させていただきました。授業では、問題を事前に大洋紙に書き、黒板に書く手間を省いて、時間を有効に使う姿勢が見られました。この大洋紙やペンも備品です。小中学校に出向いて話を聞くと、やはり備品が不足と聞きます。

来年度には小中学生全員にタブレットが配布されます。しかし、タブレットが配布されても、アップル社のタブレットに見合ったソフトに費用が掛かるとも聞きます。

市の財政が厳しいこと、様々な事業に費用が必要なのも理解しています。しかし、私は市の未来を考えたとき、もっと教育にお金を掛けるべきではないかと考えます。

家庭でも子供の教育のためには、お金の使用先を最優先に考えているのが実情だと思います。

現在、コロナ禍で人の意識は地方への移住に向かっています。その移住先に選ばれるためには、子供の教育環境が最も大きい条件だとも聞きます。

市長は、この状況をどのようにお考えか伺います。

質 問 事 項

③ 吉 川 慶 一

1 農業所得（振興）の向上について

【答弁者：市長】

今年も、7月の日照不足や8月に入ってからの高温、また、収穫期での降雨など、不安定な気象状況に悩まされましたが、昨年の過去最低水準と言われた一等米比率も回復し、胸をなで下ろしました。

一方で、令和2年産米の仮渡金は、一般コシヒカリは1万4,000円で昨年比900円の減額、新之助では1万5,200円で1,800円の減額となりました。また、令和3年の需要に見合った主食用米の生産量も、昨年から約30万トン減の693万トンと発表されました。これは、近年の人口減少に加えて、コロナ禍の影響もあって民間在庫量が増えるためとされ、農業者にとっては、過去最大の減産幅となる厳しい目安であり、非主食用米等への転換が求められているものと理解しています。

米価の下落は、農業者の経営継続への意欲減退にもつながり、今後更なる離農や耕作放棄地の増加を招くのではと強く危惧しております。糸魚川市の農業を将来にわたって持続可能なものにするためには、今回のコロナ禍の影響も教訓にしつつ、何らかの手立てが必要と考えますが、当市の状況と対応について伺います。

(1) 令和3年産米の作付けに向けた課題と、その対策について伺います。

主食用米から非主食用米への転換や高収益作物への転作など、米価の安定、所得の安定に向けた取組について考えているか伺います。

(2) 農業収入の維持向上に向けた取組について、現在の考えを伺います。

(3) 農作業に係るコスト削減の取組と、基盤整備事業の現状について伺います。

2 マイナンバーカードの普及と利活用について

【答弁者：市長】

新内閣が発足して、国民生活の利便性向上を目指すため、デジタル庁が新設される予定です。デジタル社会のツールの一つとして、マイナンバーカードの利活用が国と地方においても重要視されています。マイナンバーカードは、平成28年1月に発行が始まって以来、5年近くが経過し、国は、マイナンバーカードの普及と利活用に取り組み、また、地方公共団体における利活用を推奨していますが、今後のマイナンバーカードの普及と利活用について伺います。

(1) 市民のマイナンバーカードの取得率の経過はどうか。また、今後のマイナンバーカードの取得促進に向けての取組はどうか、伺います。

(2) 現在の当市における、マイナンバーカードの利活用について伺います。

(3) 今後の利活用に向けての取組について伺います。

質 問 事 項

3 新型コロナウイルス感染症下で、災害が発生した際の避難所対応について

【答弁者：市長】

- (1) 新型コロナウイルスは終息せず、避難所の3密対策で親戚、友人宅等への避難も選択肢の一つとなり、避難所は避難者の収容数が限られてくると思いますが、どのように対応し、高齢者を始めとする要配慮者の避難をどのように進めているか考えを伺います。また、事前の出前講座で避難時の対応が周知できているか伺います。
- (2) コロナ禍での避難所対応者の配置、検温等の受付対応や高齢者、発熱者等の感染防止対策の考えを伺います。また、発熱者や濃厚接触者等が一時的に避難された場合の受入対応について伺います。
- (3) 高齢化が進んでいる地域もありますが、高齢者等をどのように避難所へ誘導する計画となっているか伺います。

④ 滝川正義

1 令和3年度予算編成方針とコロナ禍について

【答弁者：市長】

- (1) 市民生活及び経済活動は、コロナ禍以前のどの程度まで回復していると認識しているのか伺う。
- (2) 「このコロナ禍に対応することは事業見直しの転機であり、転換しなければならぬ重要な年でもある」としているが、コロナ禍と事業見直しがどのように結び付くのか伺う。
- (3) 昨年度の予算編成では、「『子ども』と『若者』、『シニア』、『女性』をターゲット」にすると宣していたが、今年度は「安全安心」を重点施策のキーワードにするとしている。大きく転換した理由を伺う。
- (4) 10月7日に議会として市長へ要望した中で、「事業主、従業員の感染不安を解消するため、民間事業者が行うPCR検査を受けられるよう助成制度を創設」するよう要望したが、どのように受け止めているか伺う。
- (5) 菅首相が掲げる「自助・共助・公助、そして絆」というフレーズについて、防災面から見てどのように捉えているか伺う。

質 問 事 項

2 行政のデジタル化について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 今年度、戸籍システムの改修を行っているが、政府が進める業務システムの標準化と整合が取れ、スムーズな移行ができるのか伺う。
- (2) 国が示しているシステム標準化の17業務については、当市では既にその一部、又は全てがシステム化されているのか伺う。
- (3) 現行システムで、クラウドサービスを利用しているシステムがあるのか伺う。
- (4) 業務効率化外部診断を委託しているが、この診断の結果、業務のデジタル化との関連が出てくるのか伺う。
- (5) 業務のデジタル化と併せ、押印廃止の動きがあるが、当市では押印の廃止について、どのように考えているのか伺う。
- (6) 行政のデジタル化と個人情報の保護は密接な関係にあるが、この両者の関連について、どのような問題意識を持っているのか伺う。
- (7) 業務のデジタル化を進めるには、エンジニア思考の人材配置、更には、庁内のデジタル化推進の統括とシステムの維持管理を専任する最高情報責任者・C I Oを設置すべきと考えるがいかがか伺う。
- (8) 10月20日に文部科学省から「学校が保護者等に求める押印の見直し及び学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化の推進について」という通知が出ているが、これへの対応について伺う。

3 移住・定住促進策について

【答弁者：市長】

- (1) 元年度のU I ターン家賃補助では新規13件、U I ターン空き家改修補助では6件の実績があったが、これらをどのように評価しているか伺う。
- (2) これら補助制度を利用したU I ターン者のうち、若い現役の世代の割合はどの程度か伺う。
- (3) 雇用促進住宅に関して
 - ① U I ターン者とそれ以外の入居者の家賃を比べると、2年目まではU I ターン者の家賃はほぼ半額、3、4年目は4分の3である。なぜこのような家賃設定になっているのか伺う。
 - ② 家賃の減額期間が4年間であるが、なぜ4年なのかその理由を伺う。
 - ③ 雇用促進住宅条例の「勤務する者」と、U I ターン促進住宅支援事業補助金交付要綱の「常用労働者」には、パート等は含まれないのか伺う。
 - ④ 雇用促進住宅のU I ターン者向けの家賃の優遇は4年間だが、U I ターン促進住宅支援事業補助金交付要綱での家賃補助は2年間である。同じU I ターン

質 問 事 項

者に対して補助期間が違うのは、何ゆえか伺う。

- (4) U I ターン促進空き家取得支援補助による空き家の取得は0件である。補助内容がニーズにできていないのではないかと思うが、この実績についての評価を伺う。
- (5) そもそも移住促進の目的は、定住人口を増やすことである。それであるならば、U I ターン者以外で引き続きふるさとに住み続けたいと思う若い世代をもっと優遇し、定住人口を増やす住宅政策に力を入れるべきと考えるが、いかがか伺う。

⑤ 保 坂 悟

1 子育て支援について

【答弁者：市長、教育長】

(1) 不妊症・不育症治療の支援拡充について

公明党は1998年以降、国や地方で保険適用を求めており、9月27日の公明党全国大会で菅首相が「公明党の皆さんから不妊治療の助成拡大や保険適用に強い要請を受けている。できるだけ早く保険適用ができるようにしたい。それまでの間は、助成金を思い切って拡大したい。」と挨拶している。市においても支援拡充の考えはあるか。

(2) 出産一時金の実態に合わせた対応について

出産費用の全国平均額が、50万円を超えている報道があった。現行の42万円から50万円に増額する考えはあるか。

(3) 子ども誕生祝い事業の拡充について

9月定例会で、コロナ対応として今年度に限り2万6,000円を増額し、5万円としたが、新年度より5万円とする考えはあるか。

(4) 特別定額給付金の対象外となった新生児への給付について

新型コロナの第3波を受け、新生児家族の精神的・経済的負担の軽減が必要と考える。市内経済振興を考慮し、今年度に限り新生児1人につき、商品券7万4,000円を給付する考えはあるか。

2 糸魚川市公共施設等総合管理指針 個別計画（スポーツ施設）について

【答弁者：市長、教育長】

(1) 能生体育館について

使用実績の伸びを考慮し、ギャラリーにおけるランニングで足や膝への負担軽減を行う、衝撃吸収材による修繕の考えはあるか。

質 問 事 項

(2) 能生球場について

- ① 能生中学校野球部の今年度の活躍や、施設の使用実績の伸びを考慮し、波打っている内野の修繕を行う考えはあるか。
- ② トイレの洋式化と手洗い場の改善を行う考えはあるか。
- ③ グラウンド外側の1 塁側通路にひび割れと段差があり、転倒によるけがが心配されるが、改修の考えはあるか。

(3) シーサイドバレースキー場の今後について

- ① 昨シーズンは稼働日ゼロという前代未聞の年となった。それを踏まえて今後の展望について、思い切ったプランはあるのか。また、市と指定管理者では今後の取組について、考えは一致しているか。
- ② 借地代 1,000 万円を指定管理者の支払いとしているが、借地について市が買い取るか、直接借地代を支払う形にできないか。
- ③ キャラクター戦略で「ポケモン」等とコラボする考えはあるか。

3 生活弱者への支援拡充について

【答弁者：市長、教育長】

(1) 除雪、除草、買物、通院、制度利用等の支援拡充について

- ① 超高齢化に備え、生活相談窓口を設置する考えはあるか。
- ② 異業種連携による生活支援会社（公社）の設立と、地域内通貨（商品券やデジタル通貨）を組み合わせた取組を検討する考えはあるか。
- ③ ドライブレコーダー設置補助等の制度周知や支援はあるか。

(2) 広報・おしらせばんの配布方法について

- ① デジタル派とペーパー派の希望調査を行う考えはあるか。
- ② デジタル派の方たちがホームページでの閲覧希望をした場合、費用は変わらないと考えるが、どのような課題や問題があるか。

(3) 公共施設等のバリアフリー化について

- ① 歩道等の段差解消の進捗状況は、どうなっているか。
- ② 公共施設の階段の手すりの有無や、安全性の点検を行っているか。
- ③ 車椅子用段差解消機や階段昇降機の設置基準は、どうなっているか。

(4) 認知症による徘徊対策について

- ① 徘徊センサーの周知や利用度は、どうなっているか。
- ② 2次元（QR）コード付きシールの導入の考えはあるか。

質 問 事 項

4 新型コロナウイルス感染症（第3波）対策について

【答弁者：市長】

(1) 医療機関の負担軽減策について

- ① 市内で軽度感染者受入体制の強化や、施設の拡充はあるか。
- ② 市内宿泊業者との連携協定を拡大する考えはあるか。
- ③ 自家発電機能と空調付きプレハブ等の導入の考えはあるか。

(2) 飲食店や宿泊業者への支援について

- ① 新しい飲食スタイルの支援への考えはあるか。
- ② 異業種連携による新たな事業継続の支援策はあるか。
- ③ フードバンクや食品ロスアプリ等の導入支援はあるか。

(3) 動物愛護活動の支援について

- ① 災害時の同行避難における、感染症対策の周知強化の考えはあるか。
- ② 不妊・去勢手術や、譲渡会等の感染症対策の支援の考えはあるか。

(4) 高齢者等のリモート生活への支援について

- ① スマートフォンやタブレット等の普及講座や、使い勝手の良いアプリを紹介する説明会等を行う考えはあるか。
- ② 携帯料金値下げに伴い、必要なサービスの取捨選択や料金設定等の相談窓口を、官民で設置する考えはあるか。

5 糸魚川駅北まちづくり戦略について

【答弁者：市長、教育長】

(1) 駅北エリア全体のWi-Fi環境整備について

仕事、学習、遊びが自由にできる空間にする考えはあるか。

(2) 分散型施設の役割について

- ① 行政部門として駅北広場キターレ、駅北復興住宅、糸魚川地区公民館、公園、にぎわいの拠点施設（子育て支援機能）が受け持つ内容を、どのように決めるのか。
- ② 民間部門として事業所、民家、空き家、空き店舗が受け持つ内容はどのように決めるのか。
- ③ 道路や雁木部門として、人々がまち歩きするための仕掛けをどのように決めるのか。その時の主体者は決めておくのか。

(3) 市民自らが主体者となることへの動機付けについて

- ① 「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を置き、SDGsを実践するまちにする考えはあるか。
- ② 人を集めるのではなく、人が勝手に集まる魅力を真剣に考え、実験証明する

質 問 事 項

まちにする考えはあるか。

- ③ デジタルとアナログの体験ができるまちにする考えはあるか。

6 産官学による新しい観光と魅力づくりについて

【答弁者：市長、教育長】

(1) 駅南（アルプス口）通りの活用について

駅北エリア同様、駅南エリアを活かす考えや計画はあるか。

(2) 鉄道を活かしたまちづくりについて

① 「機関車トーマス号」で有名な大井川鐵道のように、乗りたくなる鉄道を目指し、思い切った取組を行う考えや計画はあるか。

② 平成 26 年 12 月一般質問で、無人駅の活用について質問しているが、オフィスやカフェ、モノづくり工房にする考えはあるか。

(3) (仮称)「フォトフレーム写真コンテスト」の開催の考えはあるか。

オリジナルフォトフレームを制作し、それを使った写真や動画を SNS にアップしてもらうものであり、目的は市の景色や情報の拡散である。

(4) 能生地域の海洋系サテライトキャンパス化について

能水商店、高校生レストラン、近大ノドグロ養殖、部活動等の実績を活かし、国県を巻き込み、各種大学の関連施設の整備や学術協定を結び、積極的にキャンパス化する考えはあるか。

(5) 世界ジオパーク体験観光ビューローの創設について

市の観光施設を一括管理して、スタッフの通年雇用をする考えはあるか。

⑥ 渡 辺 重 雄

1 地域資源を活用した産業の振興について

【答弁者：市長】

コロナ禍による不景気は、通常の不景気とは違い、長期的に影響が出るものと考えられます。特に、考え方の変化にも及んでおり、回復したとしても既存の考え方だけでは衰退も危惧されます。今後、豊富な資源の活用などに異業種や域外業者の参入も促し、改革的発想による地域資源を活かした産業の振興に期待して伺います。

(1) 地域資源の現状と活用方法について

数ある地域資源をどのように発掘、整理し、付加価値をつけて情報発信したり、流通させて地域の強みに活かしているか、伺います。

質 問 事 項

(2) 異業種や域外業者等の参入について

活用することが難しい地域資源もあり、異業種や域外業者などからの参入も促し、活用の幅を広げるべきと考えるが、いかがか伺います。

(3) 市民ぐるみの観光振興について

観光は地域資源がベースであり、DMOなどで市民が大きく関わることにより、観光振興につながると考えており、各種の取組について伺います。

2 新しい価値観に対応した人口対策について

【答弁者：市長、教育長】

今回の新型コロナウイルス感染症対応は、住んでいる所によって様々であり、人生で本当に必要なものは健康や家族と穏やかに過ごす日常生活だという気づきもありました。都市部では安心安全から地方に対する見方も変わってきており、移住定住の議論にも波及していることから、新たな発想による人口対策と戦略が必要と考え伺います。

(1) 人口ビジョン策定後の糸魚川市の現況について

平成27年に人口ビジョンが策定されて5年、人口ビジョンを基にした総合戦略の成果をどのように分析し、今後に向けて取り組んでいるか伺います。

(2) 各種就業支援とキャリア教育、コンソーシアムについて

人口減少対策として、各種の就業支援やキャリア教育、そしてコンソーシアムの構築にも期待しており、取組の現状と今後について伺います。

(3) 移住定住の促進について

コロナ禍により、住まいに対する意識の変化も見られる中で、どのような踏み込んだ施策が効果的と考えるか、新たな対応を伺います。

3 コロナ禍後における行財政について

【答弁者：市長】

今回のコロナ禍は、今だけ我慢すればという、現状のままじっと待つという選択から、一日も早く現実を受け入れ、変化に対応した人や組織が新しい時代に適応して生き残れると言われていています。不透明で不確実な時代を迎えるコロナ禍後、新しい生活様式やデジタル化などを踏まえた行政の在り方と見通しなどを伺います。

(1) コロナ禍後の行政の在り方と進め方について

コロナ禍における新しい生活様式や急速なデジタル化の動きの中で、アフターコロナを見据えた行政の在り方と進め方について伺います。

(2) 自助・共助・公助と行政改革について

コロナ禍後は、市民と行政が役割を分担しながら公益を増進していく新たな仕

質 問 事 項

組みが必要と考えており、行政の基本的な考えを伺います。

(3) 長期財政見通しに見る課題について

令和7年度までの見通しの中で、行政需要の増大、一般財源の減少、合併特例の終了などの課題が挙げられているが、これらに対応する戦略を伺います。

⑦ 佐 藤 孝

1 温室効果ガス削減と異常気象対策について

【答弁者：市長】

菅総理は、主要20か国地域首脳会議で、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする決意を表明しました。11月19日と11月20日には、衆議院と参議院で、気候非常事態宣言が可決されました。日本中で取り組んで世界をリードして欲しいと思いますが、以下伺います。

- (1) 2050年の天気予報が発表されて6年、衝撃的で過酷な予報が、前倒しで実証されつつあるように思えますが、いかがですか。
- (2) オランダでは、市民866人が政府に対して起こした、気候変動から国民の生存権を守れという裁判で、昨年暮れに最高裁で原告が勝訴しました。その結果、アムステルダム市では、2030年までにガソリン車やディーゼル車の走行を禁止することを議会で決議したといます。ヨーロッパのこの流れに対して、日本は危機感が足りないと思いますが、いかがですか。
- (3) 糸魚川市はフェーン現象の影響を受けやすい地域ですが、今後の気候変動の影響をどのように想定し、対策を考えているか伺います。
- (4) 糸魚川市の温室効果ガス排出量の現状、削減対策の現状と今後の計画について伺います。
- (5) 電気自動車、再生可能エネルギー、蓄電池の普及について伺います。
- (6) 気温上昇や海水温上昇による農漁業への影響と対策については、どのように考えているか伺います。
- (7) この問題の先送りは将来の世代の生存権を脅かすこととなります。国や企業や政治家任せでは手遅れになります。市は、市民への周知から始めて、国を引っ張るような意気込みで臨んで欲しいと思いますがいかがですか。

質 問 事 項

⑧ 笠原幸江

1 木地屋の里の現状と今後について

【答弁者：市長、教育長】

令和2年9月10日から全館休館とする突然の貼り紙をし、木地屋の里が冬ごもりに入っています。この木地屋の里は、集落に残された民俗資料の保存活用と地域活性化を目的とし、昭和62年に活動を始めています。木地製作用具・製品555点、漆器製作製品866点、文献40点を合わせて1,461点から構成され、重要有形民俗文化財に指定されている観点から、このまま休館することは忍び難いと考えます。

現在は地域に生活されている人はなく、木地屋地域出身者の方たちが、現在まで守り続けてきたともお伺いしています。当時の役員の方たちの熱意が原動力となり、国を動かし、民家を移築して資料館を完成。その後、栃の木（食堂・お土産類）が開館されています。文化財は、その土地にあって価値あるものと考えます。

それらを踏まえ、現状と課題と今後について、以下の項目について伺います。

- (1) 民俗資料館と栃の木の体制は、どのようになっていますか。
- (2) 突然休館になっています。存続するために、今までどのような対策を取ってきていますか。
- (3) 利用されている土地は市有地ですか。
- (4) 指定管理者制度で管理されています。年間計画は、どのようになっていますか。
- (5) 現在、建物と文化財の担当課が別になっています。一本化は可能でしょうか。
- (6) 今後について、管理者と利用方法について協議されていると思いますが、地域内の意見のみではなく、広く公募し、計画を立てるお考えはありますか。

2 いじめ・不登校について

【答弁者：市長、教育長】

糸魚川市は「子ども一貫教育」を推進しています。「ひとみかがやく日本一の子ども」の実現には、いじめのない社会の構築が必要です。このため、いじめ防止対策推進法及び国のいじめ防止等の基本方針に基づき、糸魚川市いじめ防止基本方針を平成27年度に策定し、平成31年1月に見直しを行っています。

いじめのない社会の実現を目指し、決意を新たにして取組を進めていくとしています。いじめによる重大事案や重大事態は発生していないと承知していますが、毎年度当初に報告されている、いじめの認知件数や不登校件数、長期欠席件数を懸念しています。

それらを踏まえ、以下の項目について伺います。

質 問 事 項

- (1) コロナ禍における、児童生徒が発信するネット上の人権に係る事案はないでしょうか。
- (2) いじめによる不登校で、長期欠席になっている事案はないでしょうか。
- (3) いじめや不登校・長期欠席を論じるとき、必ず家庭教育が必要と締めています。家庭教育支援をどのように手当てされ、成果を上げ、問題解決されていますか。
- (4) いじめの件数、不登校による長期欠席件数は、年度切替時に学年が進級されても、継続されるものと考えます。令和元年度から令和2年度に移行され、対策はどのようにされていますか。

⑨ 新 保 峰 孝

1 新型コロナウイルス感染症対策について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 糸魚川市における新型コロナウイルス感染症対策の現状は、どのようになっているか。
 - ① 相談体制は、どのように活用されているか。
 - ② PCR等検査体制の活動状況はどうか。
 - ③ 隔離・保護施設の確保については、どのようになっているか。
 - ④ 入院・病床確保等の医療体制は大丈夫か。
 - ⑤ 市、保健所、開業医・病院との連携は機能しているか。
- (2) 糸魚川市内における新型コロナウイルス感染症に対する経済対策の効果及び現状を、どのように捉えているか。
- (3) 感染者数が過去最高となっている現状を踏まえた感染症対策、経済対策の強化が求められていると思うが、今後の対策をどのように進める考えか。
 - ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止策の強化について、どのように考えているか。
 - ② 感染拡大防止休業協力金等、今一度、対策強化のための独自施策を行う必要があるのではないか。
 - ③ 経済対策として、仕事がない業者や市民向けに、市所有施設の小修繕や公園の清掃・除草等、直接市発注の仕事づくりを行ったらどうか。
 - ④ 国民健康保険税、介護保険料等の減免は、適切に対応できているか。

質 問 事 項

2 糸魚川市介護保険事業計画について

【答弁者：市長】

- (1) 施設介護と在宅介護の現状と課題について、どのように考えているか。
- ① 施設への入所希望者数、在宅介護を受けている方は、それぞれ何名か。
 - ② 介護従事者数及び職種と不足数は、把握されているか。
 - ③ 施設への入所を希望しても入れない原因は、どこにあると考えているか。
 - ④ 在宅介護を増やしていくことができない理由は、どこにあると考えているか。
- (2) 第8期介護保険事業計画については、どこまで検討が進んでいるか。
- ① 次期計画は、団塊の世代が後期高齢者に移行していく時期に重なると思う。それらを踏まえた計画として検討されていると思うが、どのような検討がなされているか。
 - ② 特別養護老人ホーム増床計画が、土地の確保ができなくて増床できなかったことがあったが、今後の計画で分散しても増床を考えるべきではないか。
- (3) 高齢化が進む今後の糸魚川市の介護保険事業計画は、どのような考え方でつくっていく考えか。
- ① 在宅介護を増やしていくため、新しい住宅を建てるときから市民に考えていただくため、市が推奨する介護を考えたモデルハウスを設置すべきではないか。
 - ② 24時間在宅介護が可能な住宅に改修・改造するための補助事業を、更に充実させることが必要ではないか。
 - ③ 老老介護への対応を強化するための住宅改修等支援については、どのように考えているか。
 - ④ 高齢化が進む中で、介護事業者への独自の支援強化が必要ではないか。
 - ⑤ 健康づくりの取組を強化すべきではないか。

3 地域農業の振興について

【答弁者：市長】

- (1) 市内農業の現状を、どのように捉えているか。
- 農業の衰退は、耕地、山林等の維持・存続だけでなく、中山間地域そのものの存続を一層難しくする。災害防止の面からも大きな影響があると考え。現状をどのように捉えているか。
- (2) ほとんど稲作農家という現状をどのように捉え、今後、高齢化と地球温暖化が進む中で、どのような振興策を考えているか。
- ① 後継者問題では、どのような対策、取組を行っているか。
 - ② 温暖化対策では、どのような取組を行っているか。
 - ③ 地域資源を生かした新たな仕事づくり、法人が受託できない農地や山林、耕

質 問 事 項

作放棄地等を活用した起業に対する支援を検討すべきではないか。

④ 地球温暖化が進む中で、栽培環境の整備（暗渠排水の推進、畦畔の雑草対策等）、品種や温暖化対応技術の習得等、考えていく必要があるのではないか。

⑤ 高齢化が進む中で、経営形態を多様化させるのは難しい問題もあるが、耕作放棄地等を活用した作目、園芸の検討、中山間地の資源を生かした取組を強化する中で、都市との連携を通じて都市部の関心のある青年を呼び込むことを研究すべきでないか。

(3) 能生地域の漁業で行われている、半分漁業半分Xのような形態もある。他地域からの人材呼び込みはどのように行い、今後どのように進めていく考えか。

⑩ 田 中 立 一

1 空き家・空き店舗対策について

【答弁者：市長】

(1) 市内の空き家・空き店舗の現状を、どのように把握しているか。

(2) 空き家・空き店舗の持ち主の把握と、持ち主の意向確認について行っているか。

(3) 空き家・空き店舗の活用と移住促進策について、考えを伺う。

2 久比岐自転車道路の活用について

【答弁者：市長】

久比岐自転車道路は、上越市と糸魚川市を結ぶ旧国鉄北陸本線の線路跡地を利用して作られたサイクリングロードで、近年のサイクリング熱の高まりから、海沿いの美しい風景を楽しみながらサイクリングする人達を多く見るようになった。

今後もこの傾向は続くものと思うが、この久比岐自転車道路を活用しての観光誘客について、考えを伺う。

(1) 上越市の虫生岩戸から糸魚川市中宿までの全長約32kmと、サイクリングロードとしての距離は長くない。また線路跡地ということもあり、平坦で走りやすく幅広いユーザーに楽しめる。

① 上越市側はともかく糸魚川市側は、今度設置されるえちごトキめき鉄道新駅である「えちご押上ひすい海岸駅」付近まで、サイクリング道路として延長を検討できないか。

② ガイドマップはあるが、徳合から海谷、フォッサマグナパークなど、特徴ある各谷のサイクリング周遊マップの作製について考えはないか。

質 問 事 項

- (2) PRキャラクター「久比岐 凜」を活用したPR動画の作成について、考えはないか。
- (3) 上越妙高、HAKUBA VALLEY、朝日町との、サイクリングによる連携した企画などの取組を持つ考えはないか。

3 糸魚川市の農業について

【答弁者：市長】

2020年産米は、県内各生産地で作柄・作況とも良く、豊作となった。

先月開かれたJAひすい主催の糸魚川産米ブランド化生産者大会でも、管内の作柄・作況が報告され、作柄は平年並みに回復し、集荷量も昨年以上となり、生産者の努力が称えられた。

一方コロナ禍で、全国的に主食用米のだぶつきが懸念され、米価格の下落、今後の需給動向、次年度の作付けについて対策が求められていることから、市の考えを伺う。

- (1) 市内産米の需給動向について
- (2) 米価格の下落と生産者の所得への影響及び対策をどう考えているか。
- (3) 下落の激しい新之助を始め、主食用米の転換など、次年度に向けて作付けについて、どう進めるか。
- (4) ドローンやAIなど、農業分野における新しい機能導入への取組支援について、考えを伺う。
- (5) 野生鳥獣の被害と対策について伺う。

4 新型コロナウイルスによる影響と対応について

【答弁者：市長】

- (1) 市内事業所における、新型コロナウイルスによる経営状況及び解雇・雇止めの状況について伺う。
- (2) 国や県の推進するテレワークやワーケーションについて、状況と今後の普及に対する支援についての考えを伺う。
- (3) コロナ禍におけるスキーシーズンに向けての取組及び今後の観光誘客について、考えを伺う。

⑪ 松 尾 徹 郎

1 市政運営について（その2）

【答弁者：市長】

9月定例会では「市政運営について」、主に長期財政見通しについて質問いたしましたが、これに関連して行政改革を中心に質問いたします。

令和2年3月に発表された「行政改革実施計画」では、健全な行財政運営を行うため、中長期的な展望に立った財政見通しを踏まえ、確実な財政確保に取り組むとともに、予算の重点的かつ効率的、効果的な行財政運営を心掛け、重要度や緊急度、費用対効果を意識した健全な行財政運営に努めるとしています。

また、職員への周知徹底及び意識改革を図り、行政需要に柔軟に対応できる組織の構築や、様々な行政課題に対応できる職員の育成に取り組み、能力が発揮できる組織運営を行うとしています。加えて、事務・事業の目的、成果検証を常に行い、抜本的な業務の見直しにより、経費の節減や効率化を進めると記されています。

一方、補助金については、事業効果等を検証するとともに、事業の公益性や行政支援の在り方、適正な執行や制度の再編に取り組むとしています。また、施設等の利用者負担についても、受益者負担の適正化を進めるとしていますが、ここ最近、行政改革の進展があまり見られないように思います。

補助金だけでも膨大であり、これを改革するとなると相当なエネルギーを要すると思います。また、現在、使われていない公共施設においても、維持管理費はかなり掛かっていると考えます。土地の借上料だけでも高額であり、経費節減をしなければならない点が多岐にわたっていると思います。

公共施設も徐々に老朽化が進み、施設改修と改築が新たな課題となる一方で、社会福祉費の増大を始め、医療・環境面に対する行政需要も続くものと思います。また、異常気象等による水害や地震災害など、防災・減災に対する備えのほか、新たな行政需要にも応えなくてはなりません。

低成長時代に入った現在、行政としては減量経営を余儀なくされ、行政サービスの削減と共に、施設整備についても慎重に計画を立てなければならない、厳しい現実が始まっています。

市町合併の目的は、財源不足を補い「新市建設計画」の実行と並行して効率的な行財政運営を行い、新しい糸魚川市を創ることにあったと思います。

合併後15年が経過し、人口減少や労働人口の減少と共に、社会情勢や産業構造が変わろうとしている現在、それに対応できる自治体にしていかなければなりません。行政改革の先送りは、財政を一層悪化させるだけでなく、市民要望に応えられる事業の範囲も狭めると思います。

痛みを伴う改革もなく、市長の唱える30年先も持続可能な糸魚川市になるとは思

質 問 事 項

ません。次世代の負担を少しでも軽減し、積極的に行政改革を行う必要があると考えます。

そこで伺います。第3次行政改革大綱では「コスト・スピード・成果を重視した行政経営」を基本方針として、下記のように記されています。

「1 事務・事業の見直しや民間委託など、市民目線に立った取組を積極的に進め、成果を重視した効果的・効率的なサービスの提供に努めます。

2 健全な財政を保ち、限りある財源の適切な配分と、事務・事業の効率的な執行によって経費の削減を図る等、簡素で効率的な行財政運営に取り組みます。

3 職員の意識改革を進め、多様化・専門化する行政需要や社会の変革など、様々な行政課題に迅速かつ適切に対応していくため、柔軟で横断的な繋がりを持ち機動性ある組織運営に取り組みます。」としています。

これまでの行政改革を通して、市長自身どのように評価されているか伺います。

⑫ 東野 恭 行

1 糸魚川市の関係人口増加の狙いについて

【答弁者：市長】

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指します。

地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています（総務省関係人口ポータルサイトより）。

(1) 人口減少における「地域づくりの担い手」について、糸魚川市の考えを伺います。

(2) 「いといがわ・クリエイティブ・シップ」登録人材募集の狙いを伺います。

(3) 関係人口増加が、行く行くどのような影響を及ぼすと糸魚川市はお考えか伺います。

2 ウィズコロナから脱コロナへ。糸魚川市の考えについて

【答弁者：市長】

2020年2月半ば頃から「コロナ禍」という言葉がインターネットや新聞紙面で取り上げられるようになり、現在もその状況は続いております。日頃、国民が手洗いや手指消毒、マスクの着用、3密の回避など新しい生活様式を実践しているとは言え、感

質 問 事 項

染の波は抑えきれず、新型コロナウイルスの第3波が到来しました。糸魚川においても、いつその波が押し寄せるか分からず、見えない不安やストレスと闘っています。

新型コロナウイルスの感染拡大と医療崩壊を防ぐこと。地域経済の循環を止めないこと。コロナ禍におけるアクセルとブレーキ。これらを両立しようとするジレンマについて、糸魚川市の考えを伺います。

- (1) 感染の不安を持ち込まないために、発熱などの症状が出ていない方に対するPCR検査や抗原検査実施について、糸魚川市の考えを伺います。
- (2) 危険と隣り合わせである市内の医療従事者や関係者が、少しでも安心して仕事に従事していただくための対策は。医療従事者やそのご家族、関係者の中の希望者に、定期的にPCR検査や抗原検査を行うことは有効であるとお考えか、伺います。
- (3) 感染拡大や医療崩壊の阻止、地域経済の循環を止めないための最善の手段は、市民の皆様への3密回避などの社会規範に頼ることが大半であるとお考えか、糸魚川市はどのようにお考えか伺います。
- (4) 新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について、糸魚川市の取組を伺います。

3 令和3年度の市政運営について

【答弁者：市長】

新型コロナウイルスの世界的大流行（パンデミック）は、100年に1度の公衆衛生危機であり、今後何十年にもわたり影響を及ぼすであろうと、2020年7月、世界保健機関（WHO）のテドロス事務局長は考えを示しました。しかしながら、世界的大流行であろうとも、我々市民は常に前を向き、この苦境を乗り越えなければなりません。

糸魚川市民の皆様は、未来を見据え「希望の持てる市政」を望んでいると考えます。企業の皆様においては、歯を食いしばり、この難局を乗り越えようと日々ご努力されています。現実には、糸魚川市よりお力添えをいただいたことも明日の活力につながっています。

令和3年第1回定例会に向けて予算編成が始まっていますが、令和3年度予算編成は、言わば脱コロナの未来を見据えた希望の持てるものであって欲しいと願いますし、より明確なビジョンを示して欲しいと考えます。そして、令和3年度が市民生活やモチベーションを向上させるための大切な一年であることを市民の皆様にお示しすることが、現市政と議会の責任であると考えます。

- (1) 新型コロナウイルス感染症のワクチンは、現段階で実用化されていませんが、厚生労働省は2020年度内の接種開始を目指しています。それまでの間、コロナ対策に限らず、市民の皆様が未来に希望の持てる取組を糸魚川市はお考えか、伺います。

質 問 事 項

- (2) 駅北まちづくり戦略における「民間主導・行政併走」のまちづくりの概念は、糸魚川市全域に言える考え方であるか伺います。
- (3) 糸魚川市における企業の人材不足について、どのようにお考えか伺います。
- (4) 公民連携の持続性を担保するために、市は市役所外部の様々な主体と連携・協力し、双方のメリットを共有していかななくてはならないと考えますが、糸魚川市の考えを伺います。
- (5) 30年先も持続可能なまちの実現に向け、令和3年度に強化していく取組をお伺いします。

⑬ 五十嵐健一郎

1 スマートシティ事業について

【答弁者：市長】

第2期地方創生では、その土地が持つ本質的な価値を見出すことができた地方のみが、チャンスを手に入れることができると言われています。糸魚川市としては、スマートシティの事業を実施・検討する必要があると思います。そこで、以下具体的に取組むべき項目について伺います。

- (1) 先進的技術とデータの活用
- (2) 各種の課題の解決
- (3) 地域の機能やサービスの効率化・高度化と生活の向上
- (4) 全体最適化
- (5) Society5.0の先行的な実現

2 脱炭素社会に向けた取組について

【答弁者：市長】

- (1) 2050ゼロカーボンシティ推進宣言を表明すべきと思うがどうか。
- (2) 新エネルギービジョンの導入促進の具体的な取組について伺います。
 - ① 中小水力発電
 - ② バイオマス発電と森林資源の利用
 - ③ 糸魚川沖メタンハイドレード
 - ④ 県水素サプライチェーン構想
 - ⑤ 水資源の保全
 - ⑥ プラスチック・スマートの推進
 - ⑦ 公共系等太陽光

質 問 事 項

⑧ 地熱

(3) 地球温暖化の緩和策の推進について伺います。

(4) 地球温暖化の適応策の推進について伺います。

3 インフラ資産等の整備計画の在り方について

【答弁者：市長】

(1) 下水道事業等が直面する課題について

ストックマネジメント計画の概要及び新たなアセットマネジメントへの方向性はどうか、伺います。

(2) 治山施設の地震対策について

玉ノ木地区及び筒石・徳合地区等の施設は、耐震基準を満たしているか伺います。

(3) 公民連携による合理化・効率化の取組について伺います。

(4) 包括管理導入及び日本版シュタットベルケの検討について伺います。

⑭ 古川 昇

1 介護保険事業について

【答弁者：市長】

介護を家族で抱え込まず、社会全体で支え合うことを理念として始まった介護保険制度が、今年4月で20年を迎えました。この20年で社会の意識改革が進み、サービス利用者は2000年の149万人から2019年の487万人と3倍になり、制度は定着したと言えます。一方、制度を進める上で高齢者の増加、介護費用の膨張、介護現場の人手不足、財源確保など多くの課題が生まれています。2021年介護報酬改定に向けて社会保障審議会で議論が始まり、課題は職員の待遇改善による人材確保や高齢者の自立支援、重度化予防の取組に対する報酬の在り方が柱で、拡大する介護給付費抑制と、元気な高齢者を増やす施策の評価が問われています。

また、新型コロナウイルスなどの感染症や災害対応を巡る評価も焦点となっています。第8期介護保険事業計画の策定段階にあると思いますが、誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けるために、自立支援・重度化予防、地域包括ケアシステム構築、制度持続化と人材確保・定着等について、課題や取組を伺います。

(1) 在宅介護が重視されてきた中で心身機能の充実、活動や参加も含めて生活機能全般を維持し、自立支援・重度化予防につながる取組では、どんな施策を重点事業として進めてきたのか伺います。

質 問 事 項

- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業は、従来の介護サービスだけでは支えきれなかった高齢者にもサービスを利用して、介護を必要としない暮らしが続けられるようにすることが目的ですが、第7期事業計画での総合事業の検証結果を伺います。
- (3) 介護人材確保対策について、今年の介護事業所アンケートでは、介護職の新規採用者が91名、離職された方が50名で就職者が上回っていますが、市の人材確保事業には厳しい指摘もあります。アンケート結果を踏まえて今後の事業にどう活かされるのか、お考えを伺います。
- (4) 認知症の早期発見につなげるため、高齢者対象に物忘れチェック相談事業が行われていますが、相談者は何人で、診断から専門医につながったケースはどのくらいあったのか伺います。
- また、市内公民館配置の脳トレパソコンの利用状況、意見等は把握されていますでしょうか、伺います。
- (5) 在宅介護実態調査結果から見えてきた課題は何か、在宅介護で住み続けられる介護サービス利用と介護施設整備の検討、考えを伺います。
- (6) 国からの相次ぐ介護制度・報酬改正により、サービス給付額の抑制が図られてきましたが、介護認定者数や重度化傾向、施設整備等で反映される次期介護保険料の見通しはどうか、検討状況を伺います。

2 障害支援について

【答弁者：市長】

長引く新型コロナウイルス感染症によって、障害のある方々に普段の声かけや誘導にも影響が出ていると報道があります。先月も視覚障害のある方が、駅のホームから転落、死亡する事件がありました。コロナ禍で3密回避、ソーシャルディスタンスが浸透し、双方とも声かけが難しいと言います。また聴覚に障害のある方は、マスクで表情が読みづらく、コミュニケーションを取るにも支障が出ているようで、ここにもコロナ禍が影を落としています。新年度には自立と共生社会の実現を目指して取り組む「ささえあいプラン」が新たに策定されます。この機会に以下の項目を伺います。

- (1) 安全・安心な生活の確保では、人にやさしいまちづくりの取組が推進され、ハード面のバリアフリーに向けて障害関係団体と意見聴取を図るとありますが、経過や課題などを伺います。
- (2) 聴覚に障害のある方々とは、どのような意見交換の機会があり、課題の把握が図られてきたのか。またコロナ禍で、新聞投書欄に日常生活での困難事例が多く掲載されています。公共施設、駅や鉄道等の交通機関、病院などで配慮や支援事業をどのように進めてきたのか伺います。
- (3) 防災・安全対策では、障害により防災情報を得ることが困難な方に対して、避難行動要支援者登録を行い、行政が把握し、関係者と連携して要支援者の支援体

質 問 事 項

制を整備するとしていますが、障害の特性に配慮した取組など、現状はどう進んでいますか、伺います。

⑮ 吉 岡 静 夫

- 1 「まずは『自助』、それがダメなら『共助』、それでもダメだったら『公助』で」の掛声かけについて
- 2 来春 2021（令和 3）年 4 月 18 日投票の市長選（市議選も同日）。時期も時期、市長選、当の市長としての姿勢について

【答弁者：市長】

今回は、次の 2 点を取り上げさせていただきます。

その 1、「まずは『自助』、それがダメなら『共助』、そして、それでもダメだったら『公助』で」の掛声かけが、肝腎の「公」、国サイドから発せられ、これが多くのメディアはもちろん、多方面からの批判を受けています。

こういった現実の中で、同じ「行政」サイドの「市政」としてこのことにどう対応すべきか—について、市長としての考え方・姿勢をお示しいただきたい。

その 2、来年 4 月 18 日投票という日程が決まった当市の市長選・市議選。そのうちの市長選。市長、どう受け止め、どう対応されようとなされておられるか。時期も時期、ということもあります、ということで当の市長ご自身、どう受け止めておられるか、対応の在り方、姿勢など—についてお示しいただきたい。

よろしく願いいたします。

- 1 「まずは『自助』、それがダメなら『共助』、それでもダメだったら『公助』で」の掛声かけについて

今、むしろ「行政」サイドからとも言えるのでしょうか、盛んに声かけが行われているのが、「まずは『自助』、それがダメなら『共助』、それでもダメだったら『公助』—」の掛声かけ。それが私たち「タミ」に向けられている「オカミ」からの呼びかけ。

が、これ、筋が違う。話が全く逆です。

まずは「公助」の確立、もっと正確な言い回しをさせてもらえば、「公の責務としての言葉なので、『助』ではなくて、『責』・『治』・『律』の生きる道づくりの地盤をまずは作っていく—」。それが、国であれ地方であれ、行政機能の持つ本来の役割でなければならないと思う。

「シャカに説法」と言われるかも知れません。が、その当然のことをあえて述べさせていただきます。

質 問 事 項

市長、今私が申し述べさせていただいたこと。どう受け止められましょうか。あなたの目指すところを、お考えをぜひお示しいただきたい。よろしくお願いたします。

ということで、私が聞き及んでいる実態・実際・主張などのいくつかを取り上げさせていただきます。

9月16日に就任した首相の言葉はこうでした。

「一私が目指す社会像。それは自助、共助、公助。まずは自分で」でした。

「自分のことは自分でやる」。これ、人として当然のことでしょう。が、問題は、そうならない人、そうなれない人もいっぱいいる。例えば「高齢社会化へ。急激な流れ」例えば「老老介護の深刻さ」などなど。今、私たちはそんな社会に直面しているのです、どう対応していくかが否応なしに課されている一。

このことについて、今、各種メディアを始め多くの国民・市民の間から「それはオカシイ、考え方・受け止め方・対応のやり方の順序が逆だ一」の声が。当然です。

巷間、いろいろな考え方・ご意見をいただきました。そのいくつかを。

「一本来、『自助』を掲げるからには、まずは『公助』と『共助』の並行した社会を目指すべき、そこを基盤にしなければ一」

「一まずは『公助』のセーフティネットをしっかりとさせてこそだ。その上で『共助』・『自助』を成り立たせる社会を目指すべきだ一」

「一人の一生、病気や障害を抱えこむことがある、格差や貧しさで命を絶つ人もいる。それを、助けてやる・やらないで片付けられても一」

「一首相が、『公助』を最後に持ってきたのは、『努力しない者は助けてやらないぞ』と言っているようなものだ一」

「一政治や行政の役割りは、弱い者・恵まれない者への目や手や足だ。そういった役割、それと仕組みを作っていくことだ一」

「一私のようなひとりぼっちの者には、『まずは自分で』と言われること自体が酷。それなりに生きたいのに一」

「一元はと言えば、国や自治体が、当然『公』の力を出して対応すべき。それをまるで『自己責任』に押し付けるようなやりかたはオカシイ。今頃になって『自助』だ『共助』だとはやし立てていてはダメだ一」

いま1点、この「自助」・「共助」・「公助」に関連して。

各世帯などへの配りもの・回覧板などの扱い方、更には各種人足など非常に困っているところがこのところ増えています。市を始め、各種行政に関わる問題でもあります。

今、「超高齢化社会」への流れが急速に進んでいます。「老老介護家庭」の増え方も決して人ごとではありません。

もちろん、このことのみならず、市というか行政サイドとして、それなりに努力を重ねておられることは分かります。

が、取組内容の見直しを含め、手法・対応について考え直してみようではありませんか。事の性格からして極めて難しい問題の一つだとは思いますが、一言申し述べさ

質 問 事 項

せていただきました。

2 来春 2021（令和3）年4月18日投票の市長選（市議選も同日）。時期も時期、市長選、当の市長としての姿勢について

市長選挙投票日が来年4月18日（市議選も同日）。そこで、現市長として、市長選にどう対応しようとなさっておられるか。時期も時期、ということで、当の市長ご自身としての受け止め・姿勢について、思うところをお示しいただきたいと存じ、伺います。よろしく願いいたします。

参考として、市長選のこれまでの動きを述べさせていただきます。

- ・ 2005（平17） ・ 4 ・ 24投票
有権者数 42,206人
投票者数 35,639人 投票率84.44%
立候補者数 3人
当選者数 1人
- ・ 2009（平21） ・ 4 ・ 19投票 無投票
有権者数 40,765人
当選者数 1人
- ・ 2013（平25） ・ 4 ・ 21投票 無投票
有権者数 38,965人
当選者数 1人
- ・ 2017（平29） ・ 4 ・ 16投票
有権者数 37,766人
投票者数 27,205人 投票率72.04%
立候補者数 2人
当選者数 1人

参考として、市議選のこれまでの動きを述べさせていただきます。

- ・ 2005（平17） ・ 4 ・ 24投票（糸魚川・能生・青海の3選挙区制）
—糸魚川・定数16人—
有権者数 25,551人
投票者数 21,245人 投票率83.15%
立候補者数 17人
当選者数 16人
- 能生・定数7人—
有権者数 8,620人
投票者数 7,491人 投票率86.90%
立候補者数 12人

質 問 事 項

- 当選者数 7人
- 青海・定数7人—
- 有権者数 8,035人
- 投票者数 6,907人 投票率85.96%
- 立候補者数 9人
- 当選者数 7人
- ・2009（平21）・4・19投票
- 有権者数 40,765人
- 投票者数 32,247人 投票率79.10%
- 立候補者数 28人
- 当選者数 26人
- ・2013（平25）・4・21投票
- 有権者数 38,965人
- 投票者数 28,459人 投票率73.04%
- 立候補者数 23人
- 当選者数 20人
- ・2017（平29）・4・16投票
- 有権者数 37,766人
- 投票者数 27,200人 投票率72.02%
- 立候補者数 22人
- 当選者数 20人